

学校教育目標 **豊かな人間性を求めて、心身ともにたくましく生きる児童の育成**  
 —豊かにかかわり合い、学ぶ楽しさをはぐくみ合い、ともに鍛え合う中央っ子—

めざす児童像 (知・徳・体のバラスのとれた児童)

こんな児童に  
 「中学校生活でも夢をえがき、自信をもって過ごす子」  
 ○ よく考える子・・・自ら学ぶ意欲 (自己の確立)  
 ○ 思いやりのある子・・・自他の生命の尊重 (共生)  
 ○ 自分でやりぬく子・・・自己指導能力と規範意識の育成 (自立)  
 ○ じょうぶな子・・・個に応じた生活習慣の確立 (実践力)

**基礎基本の確実な定着と主体的な学び**

<p><b>基礎学力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算の繰り返し指導で確実な習得</li> <li>書く、話すなど表現力の向上</li> <li>分かる楽しい、楽しい授業</li> </ul>	<p><b>授業での交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもつ、ペアで交流、グループで交流、全体で交流の流れの習慣化</li> <li>人とかかわる喜び、自分や友だちの考えのよさの実感</li> </ul>	<p><b>個の喜びがある特別支援教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個の的確な把握</li> <li>変容を捉えた指導の積み重ね</li> <li>教材、指導法の工夫</li> <li>児童、保護者との信頼関係づくり</li> </ul>
---	--	--

**豊かにかかわり合い、豊かな人間性・社会性の育成**

**自分が生きる生かせる自主活動**

- 道徳、特別活動が支える自主活動
- 学級活動、児童会活動の活性化
- 自分の考え・思いを生かす場
- 活動を生む活動の喜び
- 自主活動の賞賛

**たくましく生きる資質を培う健康づくりと危機意識**

**安定した生活の基盤づくり**

- 三つ葉の心の徹底
- 学習規律の徹底、たくさんの人が集まる場での規律やマナーの徹底
- 安心して過ごせる学校
- 正しい食事、食習慣
- 粘り強く取り組む体力づくり

めざす教師像 (主体的な大人・社会人)

児童を支える教職員 「教職員が楽しい、楽しめる学校に」

- 自ら学校を楽しむことができる
- 教職員自身がやりたいことができる
- 子どものためにできることが精一杯できる
- 中央小学校の教職員としての誇りをもつことができる

児童を支える家庭・地域

- 授業を支える家庭学習
- 子どもが活躍できる家庭・地域
- 子どもに声を掛け合う家庭・地域
- 安心・安全な地域

1 学校教育目標		
豊かな人間性を求めて、心身ともにたくましく生きる児童の育成 —豊かにかかわり合い、学ぶ楽しさをはぐくみ合い、ともに鍛え合う中央っ子—		
2 めざす児童像、教師像		
教師像 (主体的な大人・社会人)	「教職員が楽しい、楽しめる学校に」 ○ 自ら学校を楽しむことができる ○ 教職員自身がやりたいことができる ○ 子どものためにできることが精一杯できる ○ 中央小学校の教職員としての誇りをもつことができる	
児童像 (知・徳・体のバランスのとれた児童)	「中学校生活でも夢をえがき、自信をもって過ごす子」 ・ よく考える子・・・自ら学ぶ意欲(自己の確立) ・ 思いやりのある子・・・自他の生命の尊重(共生) ・ 自分でやりぬく子・・・自己指導能力と規範意識の育成(自立) ・ じょうぶな子・・・個に応じた生活習慣の確立(実践力)	
3 学校の現状(よさと課題)		
大規模な土地区画整理事業に伴い急激な発展を遂げ、児童数は増加傾向にあり転出入も多いため、児童も保護者も人間関係の希薄さから、良好な関係を築くことに課題があったり、疎外感を感じたりしているようである。 児童は、様々なことに積極的にはたらきかけることにやや遠慮がちになることがあるが、指導されたことやきめられたことは、やり遂げようとする。また、長期欠席児童はなく、学校に喜んで登校する児童が多い。		
4 中期目標(平成23年度から26年度までの4年間)		
区分	中期目標	目標実現のための具体的な方策
学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼される学校</li> <li>基礎・基本の確実な定着と主体的な学び</li> <li>授業での交流の充実</li> <li>特別支援教育の充実と深化</li> <li>安心して過ごせる学校</li> <li>不審者対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、地域から任せられる信頼関係づくりのための積極的な情報交換。</li> <li>漢字、計算の繰り返し指導。</li> <li>自分の考えを交流する授業。</li> <li>特別支援教育コーディネーターを中心にした個に合った授業の改善。</li> <li>危機管理マニュアルを有効活用できる修正。死角0をめざす可視化。</li> </ul>
児 童	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の徹底</li> <li>自主活動の定着</li> <li>児童による授業評価</li> <li>繰り返し学習、補習による学力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習用具の準備、授業中のきまりの厳守。</li> <li>授業に集中して考える雰囲気づくり。</li> <li>自主活動の実践と賞賛。</li> <li>登校後の時間を使った自主活動の広がり。</li> <li>児童自身による学習面で不十分な点のチェックと改善。</li> </ul>
教 師	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師力の向上</li> <li>児童理解、対応力の向上</li> <li>保護者から信頼される教師</li> <li>危機管理意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数授業の充実。</li> <li>問題事象に対応できる判断力や処理能力の向上。</li> <li>交流を生かした、楽しい、分かる授業。</li> <li>特別支援学級での個に応じた身に付く授業の研究。</li> <li>正確な情報収集、的確な解決策の検討。</li> <li>実効性のある安全教育、防災・避難訓練。</li> <li>避難訓練や日常点検による危機管理意識の向上。</li> </ul>
保護者地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が活躍できる家庭・地域</li> <li>児童に声を掛け合う家庭・地域</li> <li>安心・安全な地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域で児童が主体的に活動。</li> <li>授業を支える家庭学習。</li> <li>あいさつの徹底、声掛けや賞賛場の設定。</li> <li>地域と連携した安全の確保。</li> </ul>

5. 平成23年度の重点目標・達成基準・具体的な方策			
	目 標	達成基準	具体的な方策
1	<p>基礎・基本の確実な定着と主体的な学び</p> <p>○ 基礎学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算の定着</li> </ul> <p>・ 書く、話すなどの表現力の向上</p> <p>・ 分かる楽しい、楽しみな授業</p> <p>○ 授業での交流</p> <p>○ 学習内容の定着</p> <p>○ 正しい姿勢、書き順、鉛筆の持ち方</p> <p>○ 個の喜びがある特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の達成率90%以上</li> <li>九九の定着100%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをノートに書いたり、発表したりできる児童が100%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童による授業評価で、授業が楽しい児童が90%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で交流する場面を必ず数回もつ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>県版テストの通過率 低学年90%、中学年85%、高学年80%以上が85%以上</li> <li>学級の最低点の県版テストの平均40点</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい書き順で文字を書く。</li> <li>鉛筆を正しく持つが100%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育コーディネーターを中心に、取組の評価方法を作成し、評価、改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字学習の徹底のための繰り返し指導。(書き順・漢字の使い方の指導)</li> <li>九九の定着のための繰り返し指導。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをノートに書く時間の確保。</li> <li>発表する時間の確保。</li> <li>よい意見の賞賛。間違いや勘違いの理由を明確にして、次に生かせる工夫。</li> <li>学習した内容を様々な方法でまとめる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の気付き、発想を生かし、課題、めあてがはっきりした見通しがもてる工夫した授業。</li> <li>授業での、個別学習、繰り返し学習の工夫。</li> <li>一人でも多く授業が分かるための授業の工夫と改善。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもつ、ペアで交流、グループで交流、全体で交流する習慣化。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力テスト、学習状況調査の結果の分析、改善。</li> <li>県版テストでのつまずきの検証。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢正しく文字を書く指導の徹底。</li> <li>正しい鉛筆の持ち方の指導と定期的な確認。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育コーディネーターを中心に、児童の現状の分析、指導法の検討、取組の評価方法を検討して、保護者との面談を定期的に行う。</li> <li>個に応じた、教材、教具の工夫を行い、学習内容が身に付く授業の工夫。</li> <li>教職員一人一人の特別支援教育の理解と協力。</li> </ul>
2	<p>豊かなかかわり合い、豊かな人間性・社会性の育成</p> <p>○ 自分が生きる、生かせる自主活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1時間の道徳、学級活動の授業実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週案に道徳の授業の主題、学級活動の議題または題材を書く。</li> <li>現職教育での道徳の授業、学級活動の進め方の研究。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳、特別活動が支える自主活動</li> <li>・ 児童会活動の活性化</li> <li>・ 自主活動の賞賛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回の代表委員会</li> <li>・ 定期的な賞賛の場の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表委員会の開催についての検討。</li> <li>・ 代表委員会の議題の収集。</li> <li>・ 代表委員会等で話し合い賞賛の方法等検討。</li> </ul>
3	<p>たくましく生きる資質を培う健康づくりと危機意識</p> <p>○ 安定した生活の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三つ葉の心の徹底</li> <li>・ 学習規律の徹底、たくさんの方が集まる場でのマナーの徹底</li> <li>・ 安心して過ごせる学校</li> <li>・ 正しい食事、食習慣</li> <li>・ 粘り強く取り組む体力づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校生が三つ葉の心の意味を理解して言える</li> <li>・ 授業の内容に応じた雰囲気づくり</li> <li>・ 全校生が集まって静かに始まる集会</li> <li>・ 戸締まりの徹底</li> <li>・ 死角0</li> <li>・ 参加意識の高い避難訓練</li> <li>・ 自分が決めた量を確実に食べる。</li> <li>・ 全員箸を正しく使う。</li> <li>・ 全員交互食べをする。</li> <li>・ 継続的な体力づくり。</li> <li>・ 県、市の平均以下の種目をできるだけ少なくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級での児童の発達に応じた定期的な繰り返し指導。</li> <li>・ 授業中に集中して考えることができる雰囲気づくり。</li> <li>・ 事前指導、事後の繰り返し指導や賞賛。</li> <li>・ 教室にだれもいない時の戸締まりの徹底。</li> <li>・ 児童、教師が自分意識のある年3回の避難訓練。(自分を守る、みんなを守る、自分がかかわる)</li> <li>・ 運動場等の木の下枝の剪定、全教室の出入口の可視化。</li> <li>・ 食物、栄養について正しく理解する指導。</li> <li>・ 箸の持ち方について家庭へのはたらきかけ。</li> <li>・ 日本の伝統的な食習慣の理解。</li> <li>・ いつでも体力づくりができる環境整備。</li> <li>・ 体育の授業を生かした継続的な体力づくり。</li> </ul>
4	<p>教員の資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現職教育での道徳、特別活動の授業</li> <li>・ 少人数授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳、特別活動の授業の改善。</li> <li>・ 週案に道徳の主題、学級活動の題材、議題を書く。</li> <li>・ コース分けに満足している児童90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳の指導方法の研究。</li> <li>・ 体験、特別活動と関連させた道徳授業。</li> <li>・ 学級活動の進め方の研究。</li> <li>・ 週1時間の学級活動の実践。</li> <li>・ 理解が十分でない児童の繰り返し指導の場の設定。</li> <li>・ 学習内容の自分の足りない点を自分でチェックできる児童の育成。</li> <li>・ プレテストによるコース分け。自分のコースに自信がもてるコース分けと充実した学習。プレテストは単元開始の1カ月前に行い、理解が十分でない児童に必要な力を身に付ける。</li> <li>・ 自由にコース変更ができる雰囲気づくり。</li> <li>・ 疑問、自分の考えを発表し</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童による授業評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業が分かる児童 90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やすい雰囲気づくり。</li> <li>自分の考えのこだわり、変更のある意見交流。</li> </ul>
5	<p>児童を支える家庭・地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業を支える家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿題</li> <li>家庭学習の習慣化</li> </ul> </li> <li>○ 家庭での生活習慣の確率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年×10分を90% (1年は20分)</li> <li>毎日宿題提出90%</li> <li>朝ご飯を食べて登校する児童が90%以上</li> <li>家庭、地域であいさつする児童100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学級で家庭にはたらきかけ、家庭での学習の習慣化。</li> <li>児童がしたくなる家庭学習の工夫。</li> <li>宿題をし、提出しないといけない意識を家庭と連携して育成。</li> <li>学校からのたより等でのほたらきかけ。</li> <li>地域と連携したあいさつ運動。</li> </ul>
6	<p>楽しい学校生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の確立</li> <li>時間を守る</li> <li>そうじができる</li> <li>あいさつができる</li> <li>帰りたくない学校、早く来たい学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員がそうじ道具を正しく使う。</li> <li>全員が返事、あいさつができる。</li> <li>遅刻0</li> <li>いじめ、不登校0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ、そうじの自主的な活動の充実。</li> <li>そうじの仕方について視聴覚機器を使った繰り返し指導。</li> <li>遅刻0と授業の始まりに遅れないための繰り返し指導。</li> <li>自分の居場所を実感できる学級経営。</li> </ul>
7	<p>信頼関係づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が欠席した場合、できる限り家庭訪問をする。</li> <li>電話での対応は誠意をもって丁寧に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童や家庭との信頼関係を築くための児童、保護者への対応の工夫。</li> <li>保護者への必要な指導の徹底と繰り返し。</li> <li>スクールカウンセラーと連携して、家庭へのほたらきかけ。</li> </ul>